第81回 教育祭

教育祭が１０月３０日（日）に大阪城公園で行われました。教育祭は１９３４年９月に近畿地方を襲った第一室戸台風により、命を失った児童・生徒や教職員を悼むために始まりました。そして、再び不幸な出来事が起こらないことを願って全国の教育関係者の呼びかけで大阪城公園に「教育塔」が建てられました。

以来、不慮の事故や災害などにより命を失った児童・生徒、教職員、保護者、教育関係者の追悼を目的として教育祭が開催され、戦後は日教組が管理、運営を引き継いでいます。今年は全国で新たに９名の合葬が認められ、合葬者総数は２７，２５２名となりました。福井県から新合葬者はいませんでしたが、これまでに３０３名もの子どもや教職員が合葬されています。

当日は福井県から２５名の方が参列しました。教育関係機関の代表の追悼の言葉や、遺族代表のあいさつなどがありました。悲しい事故が教育現場で起きないよう、日頃から健康や安全面について、互いに気をつけ、また助け合っていきましょう。